

魅力発信！えひめ農業

令和8年5月

【お知らせ】

魅力発信！えひめ農業は、県ホームページ(※1)で、県下全地区の内容について、閲覧できます。

※1 掲載場所：ホーム＞仕事・産業＞農業＞農産園芸課＞農産物の生産振興

※2 この動向は、5月中に各普及拠点から報告のあったものをとりまとめたものです。

～愛媛県農林水産部農業振興局農産園芸課～

〒790-8570

愛媛県松山市一番町4丁目4-2

(TEL) 089-912-2558

(FAX) 089-912-2564



<http://www.pref.ehime.jp/noukei/>




目次

目次	1
5月のトピックス5選	3
絹かわなすの天敵実証試験を開始	3
低コスト簡易防鳥ネットの自主施工を支援	3
戦略的有望花き生産技術等確立事業に係る第1回連携会議を開催	4
生産量拡大と知名度アップを目指して！「媛小春」春季研修会を開催	4
点滴かん水で産地の復興を目指す	5
えひめ農業	6
■東予地方局地域農業育成室	6
節水型乾田直播栽培に挑戦！	6
キウイフルーツ安定生産に向けた静電受粉試験を実施	6
ぶどう開花前後の栽培管理を学ぶ講習会を開催	7
西条地区青年農業者連絡協議会総会を開催	7
■東予地方局地域農業育成室四国中央農業指導班	8
水稻・さといも・やまのいも栽培講習会開催	8
土居町4Hクラブの食育活動を支援	8
■東予地方局産地戦略推進室	9
地元焙煎所で国産コーヒーに関する意見交換と産地化に向けた協力を要請	9
発酵茶シンポジウムで石鎚黒茶をPR	9
■今治支局地域農業育成室	10
気候変動対策等を踏まえ、新資材の特性等を学ぶ	10
新規就農者を対象に農作業安全講習会を開催	10
今治地域農業女子組織が勉強会を開催	11
■今治支局地域農業育成室しまなみ農業指導班	11
再編復旧園における苗木の育成管理、土づくり実証を継続指導	11
上島町への移住就農に向けた取組を支援	12
■今治支局産地戦略推進室	12
「しまなみみんなのディッシュ」商品のPR活動を支援	12
■中予地方局地域農業育成室	13
さといもの単収向上に向けた夏場の重要管理について指導	13
「ひめの凜」の高品質安定生産を目指し認定栽培者講習会を開催	13
JA えひめ中央研修センターでの枝物講習会	14
いちご高温対策の新たな育苗に取り組む	14
興居島地区かんきつ栽培勉強会を開催	15
青年農業者が県外の先進技術等を学ぶ	15



■中予地方局地域農業育成室伊予農業指導班	16
「ひめの凜」高品質安定生産への技術支援	16
キウイフルーツ授粉新技術の普及促進	16
女性独自の視点で拓く農業経営～園地巡回と交流会による意識変革～	17
「ななおれ梅組合」で新たな一貫実務研修が始動!～次世代へつなぐ担い手確保対策～	17
■中予地方局地域農業育成室久万高原農業指導班	18
久万高原で暑さに強いトマト新品種が広がる	18
■中予地方局産地戦略推進室	18
シンテツポウユリの高温対策へ実証スタート	18
■南予地方局地域農業育成室	19
農林水産大臣が宇和島市のかんきつ園地を視察!	19
第1回ニューファーマー講座を開催	19
■南予地方局地域農業育成室 鬼北農業指導班	20
ももの栽培管理講習会を開催	20
泉小学校でぶどう栽培指導を実施	20
■南予地方局地域農業育成室愛南農業指導班	21
愛南生活研究協議会によるお遍路さんへ「愛南ゴールド」PR活動	21
東北で「愛南ゴールド(「河内晩柑」)」の魅力を発信!	21
消費者の期待に応える「ひめの凜」づくりを目指して	22
■八幡浜支局地域農業育成室	22
新規就農者などを対象に「かんきつ芽花管理講習会」を開催	22
∞農 Harvest 活動に新展開!	23
温州みかん摘果シートの効果実証とかんきつの生育概況	23
■八幡浜支局地域農業育成室大洲農業指導班	24
内子町青年農業者協議会プロジェクト始動!～キウイフルーツ授粉の省力化実証～	24
果樹農家と福祉事業所とのマッチング支援	24
■八幡浜支局地域農業幾瀬脂質西予農業指導班	25
省力化に向けた水稻湛水直播栽培を推進	25

5月のトピックス5選

標 題	絹かわなすの天敵実証試験を開始		機関名	東予地方局産地戦略推進室
年月日	令和8年5月28日	場所	西条市内各地	
指導対象	絹かわなす生産者（2人）	連携機関	JA えひめ未来	
普及指導内容	<p>○近年、絹かわなす栽培においてコナジラミ類等が難防除害虫として問題になっていることから、当室では、土着天敵を活用した生物的防除について実証試験を開始した。</p> <p>○西条市内2か所のほ場において、土着天敵の定着を促す温存植物（マリーゴールド）を定植し、生産者に対しては、天敵への影響が少ない農薬の選定やその使用方法について、指導を行った。</p>			
結果と今後	<p>○得られた実証成果については、JAの生産者部会対象の栽培講習会等を通じて生産者へ広く周知し、産地全体におけるIPM防除の普及促進に繋げる。</p> <p>○今後は、コナジラミ類の天敵であるタバコカスミカメの放飼とその温存植物であるゴマの定植を行い、天敵の定着状況および害虫の発生推移を定期的に調査し、露地なす栽培における実証データを蓄積する。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">左：マリーゴールドの定植 右：定植後のほ場</p>				




標 題	低コスト簡易防鳥ネットの自主施工を支援		機関名	今治支局地域農業育成室 しまなみ農業指導班
年月日	令和8年5月14日	場所	今治市伯方町叶浦	
指導対象	かんきつ生産者（3人）	連携機関	—	
普及指導内容	<p>○近年、増加する鳥類による食害を防止するため、当班では、かんきつ園地約5.6aにおいて低コスト簡易防鳥ネットの設置を指導した。</p> <p>○昨年度作成した設置マニュアルを基に、必要な資材の確保や支柱の位置決め、設置穴の掘削、ネットを掛けるプラスチックワイヤーの張り方など、農家の自主施工による設置を支援した。</p>			
結果と今後	<p>○これまでに同マニュアルを活用した簡易防鳥ネットの普及に取り組んでおり、今回の設置で島しょ部全地域（大島、伯方島、大三島）にモデル園設置ができた。</p> <p>○今後は、これらのモデル園を活用しながら、引き続き、かんきつ類の鳥害防止対策として地域への普及拡大を支援する。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> 支柱設置用の穴あけ作業 防鳥ネットを設置中 設置後の園地 </div>				




標 題	戦略的有望花き生産技術等確立事業に係る第1回連携会議を開催		機関名	中予地方局地域農業育成室
年月日	令和8年5月27日	場所	中予地方局	
指導対象	JA松山市ユーカー専門部（150人） JAえひめ中央花木部会（29人）	連携機関	農林水産研究所、松山市、東温市、JA（えひめ中央、松山市）	
普及指導内容	<p>○中予地域の花き産地の強化を図るため、「戦略的有望花き生産技術等確立事業（局予算）」に係る第1回連携会議を開催した。</p> <p>○県内のユーカーの生産状況や、新規枝物類候補の地域適応性の把握に加え、栽培並びに高温対策技術の確立などを協議。</p> <p>○本年2月と5月に実施した関西・関東地区での市場調査の結果及び枝物の先進地「JA常陸（茨城県）」の取組みを報告し、情報共有した。</p>			
結果と今後	<p>○4月から8月に出荷可能な、コバノズイナやヒュウガミズキなど新規枝物類14品目で現地実証に取り組むこととした。</p> <p>○今後も関係機関と連携して、新規品目の導入に向けた技術実証や、市場関係者及び先進地から情報収集を行うなど、枝物類の周年供給体制の構築を図る。</p>			
  				
<p>第1回連携会議を開催</p> <p>先進地（茨城県）の生産者への聞き取り</p> <p>新規枝物品目の実証ほを設置</p>				

標 題	生産量拡大と知名度アップを目指して！「媛小春」春季研修会を開催		機関名	南予地方局産地戦略推進室 八幡浜支局産地戦略推進室
年月日	令和8年5月12日	場所	みかん研究所 旧宇和島市立玉津小学校体育館	
指導対象	「南予の媛小春」魅力アップ協議会 会員等（48人）	連携機関	果樹研究センター	
普及指導内容	<p>○夏秋梢処理による結実安定技術等の実証試験結果や販売促進活動について報告。</p> <p>○カイガラムシの生態と適切な防除時期を説明し、防除対策について指導した。</p> <p>○樹勢の安定および着花率向上を目的とした春せん定方法を実演し、樹冠内部の採光性向上の必要性を周知した。</p>			
結果と今後	<p>○参加者からは栽培管理の難しさを認識しつつも、味と単価の魅力から栽培面積拡大への意欲が高まったとの意見があった。</p> <p>○今春、南予地域では5000本以上の苗木が植えられており、知名度向上のため販売促進活動および新たな加工品開発に取り組む。</p>			
 				
<p>左：実証試験の結果を共有</p> <p>右：春せん定方法を実演</p>				

標 題	点滴かん水で産地の復興を目指す		機関名	八幡浜支局産地戦略推進室
年月日	令和8年5月29日	場所	大洲市喜多	
指導対象	さといも生産者（1人）	連携機関	農林水産研究所	
普及指導内容	<p>○大洲市のさといも栽培面積は39ha（令和6年度）で県内4番目、南予最大の産地である。</p> <p>○早生品種「女早生」が秋の芋炊き用として栽培されているが、畑地作付けが多く十分なかん水が実施されていないため、単収が低く産地衰退が懸念される。</p> <p>○このため、農林水産研究所と連携し、点滴かん水の導入および「愛媛農試V2号」への品種切り替えに向け現地実証試験を実施することとなり、研究所担当者と生産者を交えて現地での試験方法等を協議した。</p>			
結果と今後	<p>○「愛媛農試V2号」と「女早生」のそれぞれに点滴かん水区と慣行区を設け、生育調査および8月下旬、11月下旬時点の収量調査を行う。</p> <p>○試験結果を広く周知し、品種切り替えと点滴かん水導入の推進を図り、さといも産地の復興を目指す。</p>			
				
種芋の選別方法等の説明		かん水チューブ設置方法の検討		調査方法の説明

えひめ農業

標 題	節水型乾田直播栽培に挑戦！	機関名	東予地方局地域農業育成室
年月日	令和8年5月25日	場所	新居浜市高津
指導対象	水稲生産者（1人）	連携機関	—
普及指導内容	<p>○資材価格の高騰や労働力不足を背景に、水稲栽培のさらなる低コスト化及び省力化が求められており、育苗、代かき、田植えを省略できる乾田直播栽培の実証を開始した。</p> <p>○乾田直播栽培は、初期の雑草防除が栽培の成否に最も影響することから、当室は、出芽直前の非選択性茎葉処理剤の適正使用について技術指導を行った。</p>		
結果と今後	<p>○非選択性茎葉処理剤の散布1週間後に雑草の残存状況等を調査した結果、雑草の枯死が確認されるとともに、イネの出芽も確認された。</p> <p>○今後は、除草剤の使用体系に加え、生育、収量、品質などを継続して調査・検証し、乾田直播栽培技術の確立と普及につなげていく。</p>		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>播種後の除草剤散布</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>出芽調査</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>出芽の状況</p> </div> </div>			

標 題	キウイフルーツ安定生産に向けた静電受粉試験を実施	機関名	東予地方局地域農業育成室
年月日	令和8年5月8日	場所	西条市中川
指導対象	キウイフルーツ栽培農家（1人）	連携機関	JA 東予園芸、果樹研究センター
普及指導内容	<p>○キウイフルーツの受粉作業の省力化に向け、受粉資材（増量剤）の違いが受粉効果に及ぼす影響を検証するため、比較試験を実施した。</p> <p>○①石松子区、②松花粉入り石松子区を設けて受粉作業を行い、作業性等を比較するとともに、開発された試作ショートノズルを静電受粉機に装着し、受粉作業時の使用感を確認した。</p>		
結果と今後	<p>○受粉作業時間は、両試験区間で同程度であり、受粉資材の違いによる噴出性や作業性に差は確認されなかった。</p> <p>○結実率は、両試験区間に大きな差は確認されず、概ね95%以上結実した。</p> <p>○試作ショートノズルは、棚面のワイヤー等への干渉が少なくスムーズな受粉作業が可能であり、園主からも、「従前のノズルと比較して操作しやすい」という声が聞かれた。</p> <p>○今後、果実肥大に及ぼす影響を定期的に調査する。</p>		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>静電風圧式受粉機</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>静電受粉を行う普及指導員</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>結実状況（5月21日）</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <p style="text-align: center;">「石松子」</p> <p>ヒゲノカズラ類の胞子からなる粉末で、人工受粉時の増量剤として用いられる</p> </div> </div>			

標 題	ぶどう開花前後の栽培管理を学ぶ講習会を開催		機関名	東予地方局地域農業育成室
年月日	令和8年5月11日	場所	ヤマサファーム（西条市丹原町高松）	
指導対象	管内のぶどう生産者（35人）	連携機関	—	
普及指導内容	<p>○西条市、新居浜市のぶどう生産者を対象に、当室は、開花前から開花初期にかけての栽培管理技術向上を目的として、栽培講習会を開催した。</p> <p>○本講習会では、新梢管理、花穂整形、第1回ジベレリン処理の方法について説明し、園地で花穂整形の実演を行った。</p>			
結果と今後	<p>○参加者は、開花期前後の適期作業の重要性について理解を深めた。</p> <p>○ホウ素欠乏対策や糖度向上技術に関する質問が多数挙がり、栽培に対する意欲の高さがうかがわれた。</p> <p>○次回は、6月8日に「予備摘粒」と「第2回ジベレリン処理」をテーマとした講習会を予定しており、当室では、今後も継続的な支援を行っていく。</p>			



開花期管理について説明



花穂整形の実演



ヤマサファームのぶどう園地

標 題	西条地区青年農業者連絡協議会総会を開催		機関名	東予地方局地域農業育成室
年月日	令和8年5月15日	場所	西条市総合福祉センター	
指導対象	西条地区青年農業者連絡協議会会員（15人）	連携機関	西条市、新居浜市	
普及指導内容	<p>○当室が開催を支援した青年農業者地区組織の総会が開催され、各作目（作物・野菜・果樹・花き・畜産）のグループが、経営課題の解決や地域貢献活動に取り組む実践活動などの事業計画が承認された。</p> <p>○前年度の実践班活動において、愛媛県若い農業経営者大会及び中国四国地域若い農業者のつどいで最優秀賞を受賞し、第64回全国農業者会議でアスパラガスの加工、販売の取組みを発表した豊田果歩氏に対し、協議会より記念品が贈呈された。</p>			
結果と今後	<p>○同協議会は、会員間の親睦を深めつつ自己研鑽と地域貢献に励むコミュニティであり、当室は、今後も実践班活動のみならず情報交換会や研修会開催、地域イベントへの参加など、青年農業者の活動を支援していく。</p>			





総会で審議する青年農業者







会長挨拶





記念品の贈呈

標 題	水稲・さといも・やまのいも栽培講習会開催		機関名	東予地方局地域農業育成室 四国中央農業指導班
年月日	令和8年5月12日、13日	場所	四国中央市川之江、三島、豊岡、土居	
指導対象	JA うま特産部会・米麦部会員（69人）	連携機関	JA（うま、全農えひめ）	
普及指導内容	<p>○当班は管内4か所にて、水稲、さといも、やまのいもの今後の管理について生産者に説明し、特にかん水管理や病害虫防除対策を重点的に指導した。</p> <p>○今年も高温が予想されることから、熱中症事故の現状や予防ポイント、熱中症発生時の対応等についても、併せて指導した。</p> <p>○JA 全農えひめから、県主要農産物奨励品種になった「にじのきらめき」の導入目的や品種特性について、説明があった。</p>			
結果と今後	<p>○生産者から水稲の水管理や病害虫対策等について質疑応答が活発に行われ、生産意欲の高さがうかがえた。</p> <p>○6月はひめの凍栽培講習会、7月は1日営農相談会を開催し、引き続き、水稲、さといも、やまのいもの生産者を支援する。</p>			
				<p>左：熱心に受講する生産者 右：質問に回答する普及指導員</p>

標 題	土居町4Hクラブの食育活動を支援		機関名	東予地方局地域農業育成室 四国中央農業指導班
年月日	令和8年5月19日	場所	四国中央市土居町	
指導対象	土居町4Hクラブ会員（4人）	連携機関	—	
普及指導内容	<p>○同組織は食育活動の一環として、市立北保育園児を対象にさつまいもの植え付け体験会を初めて開催し、当班は、園児が体験を通して農業に理解を深められるよう、活動を支援した。</p> <p>○4Hクラブ会員は、園児が作業しやすいよう事前に植え穴の準備をした後、園児にさつまいも苗の植え方を丁寧に説明した。</p>			
結果と今後	<p>○園児からは、「楽しかった」「もっと植えたい」という声が聞かれ、楽しく植え付け作業を体験した。</p> <p>○今後、4Hクラブ会員が栽培管理を行い、10月には園児を対象に収穫体験会を開催する予定である。</p> <p>○当班では、園児らに収穫の楽しさを通じて農と食を身近に感じてもらい、農業への理解を深める取組みを行う。</p>			
				<p>左：植え付け方の見本を見せる青年農業者 右：指導しながら園児と交流</p>

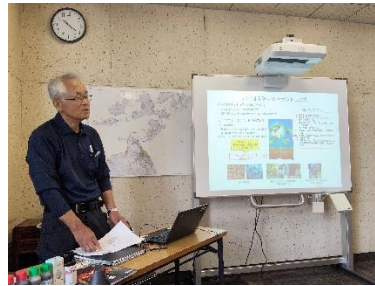
標 題	地元焙煎所で国産コーヒーに関する意見交換と産地化に向けた協力を要請		機関名	東予地方局産地戦略推進室
年月日	令和8年5月22日	場所	Verde Coffee (西条市大新田)	
指導対象	コーヒー栽培農家 (1人)	連携機関	-	
普及指導内容	<p>○「国産コーヒー」の市場性を探るため、現在栽培に取り組んでいる生産者とともに、西条市内の焙煎所「Verde Coffee」を訪問し、バリスタの稲井氏と意見交換を行った。</p> <p>○同焙煎所が得意とする地元の日本酒を使った「インフューズドコーヒー」について、稲井氏から技術や手法の説明を受けた。</p> <p>○当室は、国産コーヒーの産地化に向けた取組みについて稲井氏に説明し、協力を依頼した。</p>			
結果と今後	<p>○国産コーヒーは全国で新規参入が増えているものの、一般流通には至っておらず、一部の愛好家層に高単価で販売されている現状が分かった。</p> <p>○稲井氏からは、「ぜひ西条産のコーヒー豆を扱いたい」との前向きな回答があり、コーヒープロジェクトの協力者となった。</p> <p>○今後は、稲井氏の焙煎技術や知見を交えながら、西条産コーヒー豆の品質基準の検討や、高付加価値な商品開発に向けて、具体的な検討を共同で進めていく。</p>			
				<p>【Verde Coffee (西条市大新田)】 オーナーバリスタ 稲井克利 ・地元のお酒を使った「インフューズドコーヒー」を手掛けるなど、特色のあるコーヒー事業を展開中。</p>
バリスタの稲井氏		酒の香りをつけたコーヒー		

標 題	発酵茶シンポジウムで石鎚黒茶をPR		機関名	東予地方局産地戦略推進室
年月日	令和8年5月31日	場所	高知城歴史博物館 (高知市)	
指導対象	石鎚黒茶協議会 4組織 (10人)	連携機関	-	
普及指導内容	<p>○高知市で開催された「四国の発酵茶シンポジウム」に石鎚黒茶協議会が共催として参加し、碁石茶・阿波晩茶とともに発酵茶のPRに努めた。</p> <p>○これは、高知県大豊町の碁石茶が国の重要無形民俗文化財に指定されたことから開催され、各発酵茶の成分や取組みについて報告された他、試飲による味比べも行われた。</p> <p>○会場である高知城歴史博物館のステージ前で開催された販売会にも、石鎚黒茶協議会の4組織が出店し、高知日曜市に訪れた観光客等にも発酵茶のPRを行った。</p>			
結果と今後	<p>○四国の発酵茶製造者が揃ってイベントに参加することで、四国で継承された発酵茶の文化の認知度向上に繋がった。</p> <p>○今年も石鎚黒茶の製造が始まることから、当室では、近年問題になっている高温に対応する生産工程の見直しや新茶イベントの開催など、生産・販売面から支援を行う。</p>			
				
		<p>左：発酵茶の試飲会 右：路上で開催された販売会</p>		

標 題	気候変動対策等を踏まえ、新資材の特性等を学ぶ		機関名	今治支局地域農業育成室
年月日	令和8年5月28日	場所	今治支局	
指導対象	—	連携機関	大信産業（株）	
普及指導内容	<p>○夏場の高温対策など、近年の気候変動に関する指導要請が増えていることを踏まえ、その対策資材として注目されているバイオスティミュラント資材（以下、「BS 資材」という。）に関する室内研修会を普及職員向けに開催した。</p> <p>○多くのBS 資材を取り扱い、知見を有する販売会社を招き、使用効果の実態や現地での実証結果等、具体的な情報に学びを深めた。</p>			
結果と今後	<p>○講師から、BS 資材をめぐる動向等の詳細な説明を受け、普及職員は認識を新たにするとともに、現場での活用を想定し、多くの質問を投げかけた。</p> <p>○今後、BS 資材を使用した気候変動（高温）対策の実証を検討しており、JA 等とともにその効果を見極め可能なものから普及を進めていく方針である。</p>			

【バイオスティミュラント（BS）資材】

- ・より良い生理状態を植物にもたらす様々な物質や微生物、あるいはそれらの混在する資材であり、土壌改良剤や肥料、農薬等に添加して使用することで、高温対策等の効果が期待されている。
- ・2025 年に農水省から資材使用のガイドラインが示されている。





BS 資材の説明をする販売会社



標 題	新規就農者を対象に農作業安全講習会を開催		機関名	今治支局地域農業育成室
年月日	令和8年5月25日	場所	しまなみアースランド（今治市高池町）	
指導対象	新規就農者（1人）	連携機関	今治市農林水産課	
普及指導内容	<p>○当室では、今治市がしまなみアースランドで市民とのふれあい農園（さつまいも定植）を設置する機会を捉え、新規就農者に対する刈払機の安全使用講習会を開催した。</p> <p>○刈払機の刃のチップソーとナイロンコードの違いや、平地や傾斜地での草刈りのポイントなどを、講義と実習を交えて指導した。</p>			
結果と今後	<p>○新規就農者は、ナイロンコードを初めて使ったが、刈刃の特性や違いを認識した上で、用途に応じて使い分けるなど、安全使用に関する理解が深まった。</p> <p>○今後は、夏場の安全対策などの要素を加えながら、引き続き新規就農者等に対する農業機械の適正使用を指導していく。</p>			




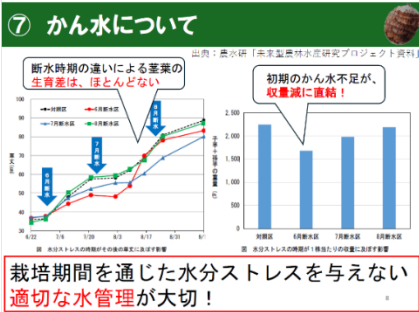
左：刈払機の特徴を説明する普及指導員
 右：刈刃を取り換える際のポイントを学ぶ新規就農者

標 題	今治地域農業女子組織が勉強会を開催		機関名	今治支局地域農業育成室
年月日	令和8年5月28日	場所	今治市大西町九王	
指導対象	農業女子組織「ROOTS」(6人)	連携機関	JA おちいまばり、やまびこジャパン(株)	
普及指導内容	<p>○農業女子組織「ROOTS」は、資質と所得の向上や地域での仲間づくりを目的とし、今年4月に結成され、個々の研さんに意欲的である。</p> <p>○当室は、結成後初めての勉強会において、栽培技術の基礎知識をテーマに、農薬の適正使用と効率の良い動力噴霧機の使用方法等について指導した。</p>			
結果と今後	<p>○参加者は農薬を安全に適正に使用するためのラベルの見方や防除時の注意点等について理解を深めた。</p> <p>○また、自らの使用状況を確認し「散布時の服装にも気をつけたい」「効果を発揮させるためのポイントがわかった」等の声があがった。</p> <p>○当室は、今後もタイムリーな話題を提供するとともに、しまなみ地域で同時期に結成された農業女子組織「しまなみ農業女子会」との連携活動も企画するなど、地域農業の担い手及びリーダーとして育成していく方針である。</p>			
				<p>左：農薬の適正使用について学ぶ参加者</p> <p>右：ノズルの選定と動力噴霧機の使用について理解を深めた現地実習</p>


標 題	再編復旧園における苗木の育成管理、土づくり実証を継続指導		機関名	今治支局地域農業育成室 しまなみ農業指導班
年月日	令和8年5月15日～28日	場所	今治市上浦町盛、古戸	
指導対象	新規就農研修生(5人)、JA担当者(1人)	連携機関	JA おちいまばり	
普及指導内容	<p>○豪雨災害からの復旧を進めている上浦町盛工区の再編復旧園で、当班は今年3月に植えた苗木(約2千本)から発生した新梢の芽かきを指導した。</p> <p>○1年生苗木では、主枝候補枝となる芽を6本程度バランス良く残して他は全て除去するなど、発芽の状況に合わせて適切に処理することを研修生等と確認した。</p> <p>○古戸工区では、土壌流亡抑制のため、冬から春にかけて栽培していた緑肥作物(エン麦)を粉碎シトラクターですき込んだ後、夏期の生育が優れる草種(ソルゴー)を種し、緑肥作物栽培による土壌流亡抑制と効果的な土づくりを通年で実証している。</p>			
結果と今後	<p>○再編復旧園での面的工事は終了し、営農再開へシフトしたことから、植付けた苗木の早期成園化に向けた技術指導や効果的な土づくりの実証を進め、研修生の定着と本格的な営農再開を支援していく。</p>			
				
芽かきを指導する普及指導員		芽かき後の1年生苗		緑肥の粉碎作業

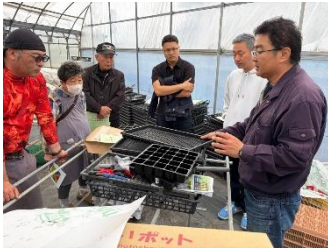

標 題	上島町への移住就農に向けた取組を支援		機関名	今治支局地域農業育成室 しまなみ農業指導班
年月日	令和8年5月25日～27日	場所	しまなみ農業指導班岩城駐在	
指導対象	移住就農希望者（1人）	連携機関	上島町	
普及指導内容	○上島町と連携し、町の定住促進事業を活用した短期農業体験の受入れを支援した。 ○レモンの枝つき等の基礎的な作業体験のほか、管内篤農家での園地視察を通じて、かんきつ農業の具体的なイメージづくりと移住就農へ向けた気運の醸成を働きかけた。			
結果と今後	○移住就農希望者は、減農薬・減化学肥料によるレモン専作を目標としており、エコ栽培の収益性等について熱心に質問するなど、本体験が自身の将来像を描く良い機会となった。 ○本格的な移住就農に繋げるためにも、今後とも町等と積極的に連携し、移住就農者のニーズに応じた営農支援に取り組んでいく。			
				<p>左：レモンの枝つりを体験する移住就農希望者</p> <p>右：有機レモン実証ほ及び品種の取組を紹介する普及指導員</p>



標 題	「しまなみみんなのディッシュ」商品のPR活動を支援		機関名	今治支局産地戦略推進室
年月日	令和8年5月17日	場所	芝っち広場（今治市常盤町）	
指導対象	しまなみみんなのディッシュ会員（6事業者）	連携機関	（公社）今治青年会議所	
普及指導内容	○（公社）今治青年会議所が主催するイベント「いまばりテラス」において、当室は、「しまなみみんなのディッシュ」商品を出展した事業者を対象に、商品の特徴や各事業者の取組内容のPRを支援した。 ○加えて、物販でのイベント出展の考え方や販売を通じた消費者とのコミュニケーションづくり等についても、指導した。			
結果と今後	○当日は晴天にも恵まれ多くの来場者があり、広くPRできた。 ○事業者は、PRを重視した物販イベントへの出展の意義と販売方法の留意点について、認識を深めた。 ○今後も、当室では、当グループの各種イベントへの積極的な出展と、商品PRや販売機会の創出を支援する。			
		<p>【しまなみみんなのディッシュ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今治市及び上島町の生産者や加工業者等で組織するグループで、しまなみ地域に芽吹いた加工品等のPRや販路拡大、農業の魅力発信等を実践中。 <p>【（公社）今治青年会議所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今治市及びその周辺地域に住所又は勤務先を有する20歳以上39歳以下の若手経営者やビジネスマン等による組織で、今治の特色を活かした事業展開を行い、輝くまちづくり等を推進している。 		
イベントへの出展				

標 題	さといもの単収向上に向けた夏場の重要管理について指導		機関名	中予地方局地域農業育成室
年月日	令和8年5月8日	場所	JA えひめ中央 東部営農支援センター	
指導対象	さといも生産者（23人） JA えひめ中央研修生（4人）	連携機関	JA えひめ中央	
普及指導内容	<p>○講習会では、5月～8月の期間で重要な栽培管理として、雑草管理やかん水、病害虫防除を中心に、研究成果や調査結果等を交えながら説明。</p> <p>○併せて、本年度の実証試験（定植時期の検討）の説明に加え、芽かぎ作業の実演を行った。</p>			
結果と今後	<p>○生産者からは、「葉焼けを軽減できるよう、細やかなかん水を実施したい」「作業ごとにどういった効果があるのか理解することができ、夏場の雑草管理を徹底したい」などの意見があり、栽培管理への意欲がうかがわれた。</p> <p>○今後は、栽培後期の管理や種芋の保管方法等に係る講習会を開催し、さといもの安定生産技術の高位平準化を図りながら産地拡大に取り組んでいく。</p>			
 <p>7 かん水について</p> <p>断水時期の違いによる茎葉の生育差は、ほとんどない</p> <p>初期のかん水不足が、収量減に直結！</p> <p>栽培期間を通じた水分ストレスを与えない適切な水管理が大切！</p> <p>栽培講習会資料抜粋</p>				


標 題	「ひめの凜」の高品質安定生産を目指し認定栽培者講習会を開催		機関名	中予地方局地域農業育成室
年月日	令和8年5月11日～13日	場所	JA えひめ中央（アグリセンター北条、荏原支所、東部営農支援センター）	
指導対象	「ひめの凜」認定栽培者（62人）	連携機関	JA えひめ中央、農産園芸課	
普及指導内容	<p>○当室では、3日間にわたり講習会を開催し、基本技術や認定制度の運用を指導。</p> <p>○講習会では、近年問題となっている猛暑などの気候変動に対応するため、たい肥等による土づくりを基本に、適期中干しや穂肥診断による肥培管理のほか、水が豊富な地域では夜間にかけて流しを行うよう指導した。</p>			
結果と今後	<p>○参加者からは、認定制度のほか、土壌条件や生育状況等に応じた基肥・穂肥の施肥量の設定など多くの質問があった。</p> <p>○今後は、中干しや穂肥に係る講習会を開催し、高品質安定生産を支援する。</p>			
 <p>アグリセンター北条 荏原支所 東部営農支援センター</p>				

標 題	JA えひめ中央研修センターでの枝物講習会		機関名	中予地方局地域農業育成室
年月日	令和8年5月14日	場所	JA えひめ中央研修センター	
指導対象	JA えひめ中央研修生（11人）	連携機関	JA えひめ中央	
普及指導内容	<p>○ユウカリ等枝物類の安定生産技術の習得と新規栽培者の確保を目的に、講習会を開催。</p> <p>○座学では、排水対策や病害虫防除などの栽培の基礎について説明。</p> <p>○現地ほ場では、摘心などのせん定技術やアースオーガ（穴掘機）を活用した排水対策の実技講習を行った。</p>			
結果と今後	<p>○研修生は、枝物栽培に必要な排水対策やせん定管理などの基礎技術について理解を深め、特にアースオーガの実演では、排水効果について実感。</p> <p>○今後とも、研修生への継続的な情報提供や現地指導を実施し、新規栽培者の確保を図るとともに、ユウカリ等の枝物類の産地振興に取り組んでいく。</p>			
				
室内での枝物栽培の基礎講習		現地でのせん定管理実技講習		アースオーガの操作体験



標 題	いちご高温対策の新たな育苗に取り組む		機関名	中予地方局地域農業育成室
年月日	令和8年4月22日、5月18日	場所	東温市南吉井、拝志	
指導対象	いちご若手生産者グループ「だんだんの会」（7人）	連携機関	垣本商事（株）、みのる産業（株）	
普及指導内容	<p>○同グループ生産者の技術力向上のため、育苗期高温対策に関する勉強会を開催。</p> <p>○当室から、底面給水育苗による炭疽病の予防や気化熱による生育促進の効果を示すとともに、メーカーからは、育苗資材「すいすいポット」と「エクセルキューブ」の特徴や育苗の注意点について説明を受けた。</p>			
結果と今後	<p>○従来の頭上かん水育苗からの設備変更や、育苗管理手法の違いについて理解を深めることができ、新たに3人が底面給水育苗に取り組むこととなった。</p> <p>○今後は、育苗資材ごとの生育データを収集・分析し、安定生産を支援していく。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 30%;"> <p>【すいすいポット】 ピート系素材主体の円筒形いちご専用育苗培土</p> <p>【エクセルキューブ】 特殊なポリエステル繊維で培地を固めたいちご専用育苗培土</p> </div> <div style="width: 30%;">  </div> <div style="width: 30%;">  </div> </div>				
		第1回勉強会		第2回勉強会




標 題	興居島地区かんきつ栽培勉強会を開催		機関名	中予地方局地域農業育成室
年月日	令和8年5月26日	場所	松山市泊町	
指導対象	かんきつ新規就農者等（11人）	連携機関	JA（果樹部会興居島支部、松山市）	
普及指導内容	<p>○かんきつの栽培技術に関する勉強会を開催し、生理落果のしくみや今後の栽培管理について情報提供したほか、現地ほ場で苗木の育成や雑草管理等について指導した。</p> <p>○意見交換では、農作業をする中で普段感じている技術課題を共有した。</p>			
結果と今後	<p>○参加者からは、「普段は恥ずかしくて聞けない疑問を解決できる場として有効であり、これからもこのような勉強会を開催してほしい」との意見があった。</p> <p>○今後は、栽培講習会や先進地視察研修等を通じて、新規就農者の技術習得と農家同士の情報共有を図るとともに、リアルタイム農業普及ネットワークシステム（ファームチャット）を活用して栽培支援を行う。</p> <p>○緑肥作物による土づくりのため、6月に泊地区で「テフグラス」をは種する。</p>			
				<p>左：かんきつ栽培技術について講義</p> <p>右：「愛媛果試第28号」の苗木管理について指導</p>


標 題	青年農業者が県外の先進技術等を学ぶ		機関名	中予地方局地域農業育成室
年月日	令和8年5月26日～27日	場所	熊本県熊本市ほか	
指導対象	松山地区青年農業者連絡協議会会員（15人）	連携機関	—	
普及指導内容	<p>○当室では、青年農業者の経営力、技術力の強化を図るため、優れた経営手法や先進技術等を学ぶ県外視察を企画した。</p> <p>○視察先の熊本県農業研究センターでは、キャベツやいちご、水稲などの研究成果を、また、(株)寺村ファームでは、オリジナル品種・熊本EC12(商標名：ゆうばれ)の園地を見学した。</p> <p>○日本最大級の農業展示会である九州農業 WEEK では、最新資材等について情報収集を行った。</p>			
結果と今後	<p>○会員は、喫緊の課題である高温や資材高騰等の対策のため、各経営に生かせる資材等について活発な質疑応答・情報交換を行った。</p> <p>○今後は、地区内外の青年農業者組織との交流会等を企画し、青年農業者の資質向上と仲間づくりを支援していく。</p>			
				
熊本県農業研究センター		(株)寺村ファーム		九州農業 WEEK


標 題	「ひめの凜」高品質安定生産への技術支援		機関名	中予地方局地域農業育成室 伊予農業指導班
年月日	令和8年4月28日、5月14日	場所	JA松山市北伊予支所 JAえひめ中央伊予中央支所	
指導対象	ひめの凜認定栽培者(89人)	連携機関	JA(松山市、えひめ中央)、農林水産研究所、農産園芸課	
普及指導内容	<p>○「ひめの凜栽培者講習会」を開催し、基本技術や栽培のポイント等を説明。</p> <p>○特に、近年の高温による品質低下を防ぐため、土づくりや肥培管理の徹底を指導した。</p> <p>○このうち、「高温時の応急管理技術」として、基肥一発肥料体系であっても、葉色低下時の追肥の必要性を説明し、プレミアムクオリティ品質を目指すよう促した。</p>			
結果と今後	<p>○参加者からは、気候変動の影響で栽培管理が難しいが、良食味・高品質である「ひめの凜」を作りこなしたい等の意見が出され、強い意気込みが感じられた。</p> <p>○今後は、中干しや穂肥講習会を通じて高温障害を回避する管理をさらに徹底し、良食味を引き出すきめ細やかな技術支援を行っていく。</p>			
				<p>左：栽培管理のポイントを説明</p> <p>右：オンライン講習会の視聴に向けたファームチャット登録推進</p>

標 題	キウイフルーツ授粉新技術の普及促進		機関名	中予地方局地域農業育成室 伊予農業指導班
年月日	令和8年5月7日	場所	JAえひめ中央砥部経済センター	
指導対象	JAえひめ中央砥部支部キウイフルーツ研究部会員(40人)	連携機関	JAえひめ中央	
普及指導内容	<p>○近年、キウイフルーツの輸入花粉の価格が高騰していることから、当班では、花粉使用量を低減できる新技術の実証と普及推進を行っている。</p> <p>○同部会総会では、最新の「静電風圧式授粉機」の情報提供を行った。</p> <p>○当日は実物の機械を持参し、生産者に直接触れてもらいながら、当班での取組みや他産地での実証成果等を説明した。</p>			
結果と今後	<p>○総会後には、購入を前向きに検討する生産者が現れるなど、新技術の導入意欲を強く喚起できた。</p> <p>○今後とも実証活動等を継続し、農家所得の安定に向けた普及活動を展開していく。</p>			
<p>【静電風圧式授粉機】 花粉を増量剤(石松子)で希釈し、静電気を帯電させ、風圧で噴射し授粉を行う機械。</p>				
		静電風圧式授粉機		授粉の様子



標 題	女性独自の視点で拓く農業経営 ～園地巡回と交流会による意識変革～		機関名	中予地方局地域農業育成室 伊予農業指導班
年月日	令和8年5月13日	場所	伊予市上三谷、宮下	
指導対象	女性認定農業者組織「あいネットワ ーク」会員(10人)	連携 機関	—	
普及指導 内容	○当班では、女性が主体的に農業経営を担う裾野を広げるため、園地巡回や研修会の開催を企画した。 ○異なる経営形態の女性農業者を交え、経営への関わり方や今後の展望について意見交換を行う機会を創出。			
結果と 今後	○園地巡回では、配偶者等との労働分担に配慮しつつ、高温対策や作業性改善、新品種導入など、身体への負担軽減と高品質化を両立させる女性独自の視点や工夫を共有した。 ○会員からは「私も負けてられない」といった前向きな発言が相次ぎ、相互に意欲を高め合う意識改革の場となった。 ○今後も女性のスキルアップや経営参画に向け、交流・研修の企画や支援を継続する。			
				<p>左：作業効率を考えたなすの整枝法や新品種について学ぶ参加者</p> <p>右：次世代へつなぐ環境整備といちご培地研究による高品質化へ向けた意見交換</p>

標 題	「ななおれ梅組合」で新たな一貫実務研修が始動! ～次世代へつなぐ担い手確保対策～		機関名	中予地方局地域農業育成室 伊予農業指導班
年月日	令和8年5月28日、29日	場所	砥部町七折	
指導対象	農事組合法人ななおれ梅組合	連携 機関	えひめ農業未来カレッジ(参加者延べ18人)	
普及指導 内容	○当班は、小梅産地とブランドの継承に向け、担い手確保を重要課題に位置づけ、就農研修機関として県認定(令和5年1月)を受けた同組合への支援を展開した。 ○年間の農作業や加工販売を体系づけた求人・支援の仕組み構築を後押しするとともに、大学等の教育機関と連携した研修を企画した。 ○当日は、産地概要の資料説明や、アンケート実施を主導するとともに、地域特産品に触れる機会や生産者自ら体験指導する場面を提供した。 ○組合長が産地の歴史やブランド力、研修環境について語る場を設けた。			
結果と 今後	○相互の親睦を深めることができ、学生からは「また研修してみたい」との発言があるなど、意欲を引き出した。 ○今後も多様な担い手育成に向け、関係機関と連携した求人活動や地域間交流など、様々な手法を展開していく。			
				
選果体験		加工体験		組合長との交流、継続研修案内

標 題	久万高原で暑さに強いトマト新品种が広がる		機関名	中予地方局地域農業育成室 久万高原農業指導班
年月日	令和8年5月29日	場所	久万高原町内各地	
指導対象	久万高原トマト部会（81人）	連携機関	JA松山市	
普及指導内容	<p>○久万高原町特産の夏秋トマトは、近年の高温の影響により裂果・軟化が増加し、品質の低下を招いている。</p> <p>○当班では、現地実証の結果を基に、裂果・軟化に対応した硬玉系新品种「桃太郎みなみ」の導入を昨年産から推進。</p> <p>○今年産でのさらなる導入のため、同品種の特性や現地実証の成果を報告した。</p>			
結果と今後	<p>○今年産の夏秋トマト栽培面積（13.6ha）のうち、同品種は85%（昨年度は30%）を占め、品種更新が順調に進んでいる。</p> <p>○引き続き、同品種の安定生産に向けた支援を行い、夏季の生産量を確保することで、市場シェアの獲得・維持を進める。</p>			
				<p>左：「桃太郎みなみ」の生育状況 （撮影日：5月22日 定植後29日）</p> <p>右：「桃太郎みなみ」第一花房の開花 （撮影日：5月25日 定植後32日）</p>

標 題	シンテッポウユリの高温対策へ実証スタート		機関名	中予地方局産地戦略推進室
年月日	令和8年5月20日	場所	東温市川内	
指導対象	シンテッポウユリ栽培農家（14戸）	連携機関	JA松山市	
普及指導内容	<p>○近年の高温の影響により、管内のシンテッポウユリの生産が不安定になっているため、軽減する栽培技術の検討を進めている。</p> <p>○今年度は、高温遭遇を回避するため、定植時期を10～20日早めた作型や、最適な品種を検討することとし、管内1か所に実証ほを設置のうえ、1回目として、5品種・計880本の苗を定植した。</p>			
結果と今後	<p>○今後、5月29日、6月9日にも定植を予定しており、抽苔率や採花率等の調査を実施し、気候に適した品種選定と各品種の最適な定植時期を検討する。</p>			
 <p>定植作業の様子</p>				

標 題	農林水産大臣が宇和島市のかんきつ園地を視察！		機関名	南予地方局地域農業育成室
年月日	令和8年5月16日	場所	宇和島市白浜	
指導対象	二宮新治氏（ニノファーム代表・NPO法人柑橘ソムリエ愛媛理事長） 他1人（2人）	連携機関	農林水産省、中国四国農政局、愛媛県農林水産部、宇和島市農林課	
普及指導内容	<p>○宇和島市農業支援センターは、認定農業者（アドバイザー）と連携し、新規就農者の確保・育成を推進している。</p> <p>○鈴木憲和農林水産大臣が宇和島市内のかんきつ園地を視察および意見交換を実施するにあたり、就農希望者の受け入れや定着支援に尽力しているアドバイザーの二宮氏を視察の際の意見交換相手に選定した。</p> <p>○当室は事前に視察園地の選定や意見交換の内容について助言を行った。</p>			
結果と今後	<p>○視察当日は、「急傾斜地における後継者不足が課題」である旨を説明した。</p> <p>○大臣は急傾斜地を目下にした視察を踏まえ、二宮氏との意見交換で「これまで確認した農地の中で最も過酷な条件であり、中山間地域の生産者をしっかり支える国にしたい」と述べられた。</p> <p>○今後も関係機関と連携し、新規就農者の確保及び育成に努める。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   <div style="text-align: right; padding-right: 20px;"> <p>左：急傾斜地で意見交換 右：大臣と記念撮影</p> </div> </div>				

標 題	第1回ニューファーマー講座を開催		機関名	南予地方局地域農業育成室
年月日	令和8年5月28日	場所	みかん学校（宇和島市吉田町沖村）	
指導対象	新規就農者、みかん学校生徒（8人）	連携機関	JA えひめ南、宇和島市	
普及指導内容	<p>○新規就農者の専門的な農業知識や技術向上のため、就農8年以下の農業者を対象としたニューファーマー講座を開催した。</p> <p>○講義では、土壌の物理性・化学性の考え方、有機質肥料・化成肥料の種類、堆肥の性質、注目されているバイオスティミュラント（BS）資材について指導した。</p> <p>○講義後、現地にて土壌診断のための採土方法を実演し、簡易診断も実施した。</p>			
結果と今後	<p>○参加者は、簡易診断のpH・EC値から園地の概要把握の有効性を認識し、適正な数値から外れている場合の対応について質問があった。</p> <p>○本講座は年4回の開催を計画しており、今後は受講生からの要望が高かった摘果、接木、花芽管理、農薬、機械整備に関する講座を実施する予定である。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   <div style="text-align: right; padding-right: 20px;"> <p>左：講師の説明に聞き入る参加者 右：現地実習</p> </div> </div>				

標 題	ももの栽培管理講習会を開催		機関名	南予地方局地域農業育成室 鬼北農業指導班
年月日	令和8年5月1日	場所	松野町延野々	
指導対象	JA えひめ南鬼北桃部会・加工桃部会 (15人)	連携 機関	JA えひめ南	
普及指導 内容	<p>○ももの安定生産を目指し、関係機関と連携して摘果、袋掛け、新梢の管理作業に関する講習を実施した。</p> <p>○当班は、現地で問題となっている枯死症の発生軽減に向けて取り組んでいる優良台木の実証状況や果樹カメムシ類の飛来状況、作業時の熱中症対策について情報提供を行った。</p>			
結果と 今後	<p>○優良台木の現地実証は、枯死症の発生程度および生育状況を継続して調査する。</p> <p>○5月15日に発表された果樹カメムシ類の発生予察注意報を受けて、松野町の行政放送を活用して生産者に注意喚起を行った。</p>			







講師の説明に見入る参加者

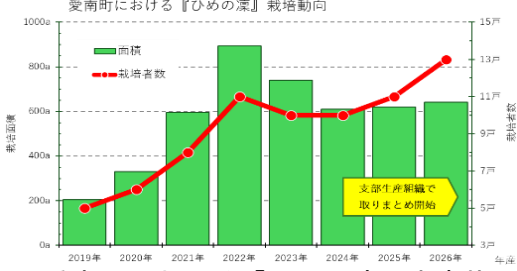

標 題	泉小学校でぶどう栽培指導を実施		機関名	南予地方局農業振興課 鬼北農業指導班
年月日	令和8年5月7日	場所	鬼北町立泉小学校	
指導対象	鬼北町立泉小学校5、6年生(16人)	連携 機関	鬼北町立泉小学校	
普及指導 内容	<p>○農業体験活動を通して地域農業への理解を深め、将来の担い手確保および育成につなげることを目的に、小学生を対象としたぶどう栽培指導を行った。</p> <p>○授業では、普及指導員の役割やぶどう栽培に関する概要について説明するとともに、同小学校が保有しているぶどうの樹を用いて芽かきや房づくり等の体験を提供した。</p>			
結果と 今後	<p>○ぶどう栽培に必要な作業体験を通じて、児童の農業および果樹栽培に対する理解を深めた。</p> <p>○今後はジベレリン処理等一連の作業体験学習を継続し、児童が地域農業に触れる機会を確保することで、さらなる理解醸成を図る。</p>			





左：普及指導員による授業
右：芽かき、房づくり体験


標 題	愛南生活研究協議会によるお遍路さんへ「愛南ゴールド」PR 活動		機関名	南予地方局地域農業育成室 愛南農業指導班
年月日	令和8年5月3日～5日	場所	愛南町御荘平城地区	
指導対象	愛南生活研究協議会（6人）	連携機関	愛南町農業支援センター	
普及指導内容	<p>○地域農産物の加工品開発に取り組む同協議会が、愛南町内の札所に隣接する加工販売所を訪れるお遍路さんに対し、「愛南ゴールド」のPR および消費拡大を目的に、生絞りジュースの無料提供と加工品販売を実施した。</p> <p>○愛南町農業支援センター所有のPR 活動用のジュースサーバーを活用し、お遍路さん以外の家族連れ来場者にも幅広く「愛南ゴールド」を周知した。</p> <p>○普及指導員が会員と協働し、「愛南ゴールド」の品種特性や調理方法を説明するなど、現地で協議会の活動を支援した。</p>			
結果と今後	<p>○会員による「愛南ゴールド」を軸としたお接待が好評を博し、生絞りジュースは3日間で295人に提供され、加工品販売も好調な売れ行きとなった。</p> <p>○今後も、同協議会の消費者交流活動を支援するとともに、地域農産物の新規加工品開発等の企画・運営を指導する。</p>			
				<p>左：PR 用のジュースサーバー</p> <p>右：ジュースの無料提供と加工品開発について説明</p>




標 題	東北で「愛南ゴールド（「河内晩柑」）」の魅力発信！		機関名	南予地方局地域農業育成室 愛南農業指導班
年月日	令和8年5月9日、10日	場所	みやぎ生活協同組合幸町店、いわて生活協同組合ベルフ向中野店ほか	
指導対象	—	連携機関	愛南町農業支援センター、県立南宇和高校、食ブランドマーケティング課	
普及指導内容	<p>○愛南町が全国一の生産量を誇る「愛南ゴールド」の認知度向上および新規販路開拓を目的に、関係機関と連携して宮城県および岩手県内のスーパーで販売促進活動を実施した。</p> <p>○PR 用ティッシュやシール等の配布、試食の実施、「愛南ゴールド」の概要および美味しい果実の見分け方の説明を行い、来店者に対し魅力発信と購買意欲向上を図った。</p>			
結果と今後	<p>○試食後は黄色い外観と味の意外性から購入が多く、特に子ども連れの家族や高齢の夫婦に人気を得た。</p> <p>○来店者からは、「愛南ゴールドとは何か」「食べ方はどうするのか」といった質問が多く寄せられ、分かりやすく回答したことで知名度向上につながった。</p> <p>○今後は関係機関と連携し、販売方法や試食方法等の効果的手法を検討し、「愛南ゴールド」の認知度向上と新規販路開拓を推進する。</p>			
				<p>左：来店者へ試食を提供</p> <p>右：「愛南ゴールド」販売コーナー</p>


標 題	消費者の期待に応える「ひめの凜」づくりを目指して		機関名	南予地方局地域農業育成室 愛南農業指導班
年月日	令和8年5月19日	場所	JA えひめ南 南宇和営農センター	
指導対象	JA えひめ南稲作部会南宇和支部 ひめの凜栽培者（5人）	連携機関	JA えひめ南 南宇和営農センター	
普及指導内容	<p>○令和8年産「ひめの凜」の品質向上を図るため、愛南町の気象条件や栽培環境を踏まえた生産者向け栽培研修会を開催した。</p> <p>○研修では昨年度の品質低下要因を踏まえ、水管理や追肥時期等の栽培管理のポイントおよび病害虫防除について説明した。</p> <p>○特に、移植時期別の生育ステージの目安を示し、各生産者が計画的に栽培管理に取り組んでいることを確認した。</p>			
結果と今後	<p>○近年は、南予の気候に起因する病害虫の発生等により1等米比率の低下や作付面積が伸び悩む状況にあるものの、栽培面積要件の緩和やテレビCMを見た消費者からの問い合わせを契機に、小面積から取り組む農家が増加し、栽培者数は徐々に増えている。</p> <p>○当班では、気候変動に対応した病害虫対策や新資材の実証、生育診断を実施し、新規および小規模栽培者を含めた生産性・品質向上の支援を継続していく。</p>			
 <p>愛南町における『ひめの凜』栽培動向</p> <p>愛南町における「ひめの凜」生産状況</p>		 <p>ひめの凜栽培マニュアル愛南版</p> <p>愛南町独自の栽培マニュアル</p>		



標 題	新規就農者などを対象に「かんきつ芽花管理講習会」を開催		機関名	八幡浜支局地域農業育成室
年月日	令和8年5月7日	場所	八幡浜市五反田	
指導対象	新規就農者等（17人）	連携機関	JAにしうわ	
普及指導内容	<p>○新規就農者の定着と儲かる農業の実践を目的に、就農研修生や就農5年目以内の新規就農者を対象として、かんきつ生産技術の基礎講座を定期的で開催している。</p> <p>○第1回目は「芽花管理」として、摘蕾や樹幹上部摘果、芽かきなどによる着果の安定化に関する講義を実施した。</p>			
結果と今後	<p>○参加者からは、生理落果促進剤（フィガロン乳剤）の使用方法や効果などについて活発な質疑応答があり、栽培管理への意欲向上が認められた。</p> <p>○また、就農研修生の疑問に対し新規就農者が助言する場面もみられ、双方の交流促進につながった。</p> <p>○次回は7月上旬に「粗摘果講習会」を開催する予定である。</p>			
				<p>左：芽花管理の説明 右：摘蕾を行う様子</p>

標 題	∞農 Harvest 活動に新展開！		機関名	八幡浜支局地域農業育成室
年月日	令和8年5月22日	場所	伊方町九町	
指導対象	一次産業女子（2人）	連携機関	—	
普及指導内容	<p>○八西地区の一次産業女子グループ「∞農 Harvest」が、青森県女性農業者と連携して商品開発に携わった果樹用長靴「かじゅなが」にメンズ版が新登場し、商品の特徴やグループの今後の活動などについて、マスコミの取材を受けた。</p> <p>○「かじゅなが」は、目を引くデザイン性に加え、履きやすさや疲れにくさ、作業のしやすさ等女性目線の機能が特徴である。</p> <p>○同グループが各種イベント等でPRする中、メンズ版の要望が多かったため、メーカーへの働きかけ等を支援し、メンズ版の実現に至った。</p>			
結果と今後	<p>○メンバーは、自分たちの声が商品化や新たな展開につながったことで大きな達成感を得ており、今後の活動意欲の向上が確認できた。</p> <p>○今後もグループの継続的な活動に向けた助言を行う。</p>			
				<p>左：メンズ版かじゅなが 「カジュナガヒーローズ」と 女性用「かじゅなが」 右：新聞社取材風景</p>

標 題	温州みかん摘果シートの効果実証とかんきつの生育概況		機関名	八幡浜支局地域農業育成室
年月日	令和8年5月14日	場所	八幡浜市向灘	
指導対象	温州みかん生産者（3人）	連携機関	JAにしうわ	
普及指導内容	<p>○令和7年度に真穴同志会青年部のプロジェクト活動として、摘果シートの被覆による効果と省力性の実証および支援を実施し、有効性を確認した。</p> <p>○今年度は、新たに3戸が実証に取り組むこととなったため、摘果シートの適切な被覆方法等を指導した。</p> <p>○管内のかんきつの開花は、前年に比べて1週間程度早く平年並みであり、着花量は平年並みからやや多い傾向にあるが、同一園地内でも樹によって着果量に差が見られる。</p>			
結果と今後	<p>○摘果シートは向灘地区の3園地で着果過多樹の樹冠上部に被覆し、農家からは、被覆にかかる時間が通常の摘果作業に比べ大幅に短縮され、省力的であるとの評価を得た。</p> <p>○今後、生理落果率や収穫期の果実品質等を調査し、摘果シートの効果検証をさらに進めることで、技術の確立および普及を目指す。</p>			
<p>【摘果シート】 摘果作業の省力化を目的に、樹冠上部を被覆し、適度な保温調整と上部遮光効果により生理落果を助長させるシート。 落果後に発生する新梢が翌年の結果母枝として成長することで、隔年結果の是正にもつながるとされている。</p>		 <p>摘果シート被覆後の状況</p>		

標 題	内子町青年農業者協議会プロジェクト始動！ ～キウイフルーツ授粉の省力化実証～		機関名	八幡浜支局地域農業育成室 大洲農業指導班
年月日	令和8年5月22日	場所	内子町五百木	
指導対象	内子町青年農業者協議会員（2人）	連携機関	内子町農村支援センター	
普及指導内容	<p>○同協議会は、生産技術の向上や地域課題の解決を目的に、例年プロジェクト活動に取り組んでおり、円滑な実施を指導している。</p> <p>○令和8年度は、キウイフルーツの授粉作業の省力化に着目し、防除用スピードスプレーヤーの風圧を利用した花粉噴射機による樹冠全体への散布効果の実証を行うこととした。</p> <p>○実証にあたり、花粉噴霧量や試験区の設定方法について助言し、指導を行った。</p>			
結果と今後	<p>○10aあたりの授粉作業時間を調査した結果、通常の液体授粉を行う対照区は37分であったのに対し、花粉噴射機を利用した実証区は1分22秒となり、作業時間を35分以上短縮し大幅な省力化を達成した。</p> <p>○今後は、結実率や果実品質・階級を調査し、省力化技術の確立と地域への普及を図る。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>花粉噴射機</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>授粉試験方法を指導</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>生産者による授粉作業実証</p> </div> </div>				

標 題	果樹農家と福祉事業所とのマッチング支援		機関名	八幡浜支局地域農業育成室 大洲農業指導班
年月日	令和8年5月20日	場所	内子町小田	
指導対象	ゆず生産者（1人）、福祉事業所職員 及び利用者（4人）	連携機関	福祉事業所みんと	
普及指導内容	<p>○農福連携に関心のあるゆず栽培農家の要望に基づき、大洲市内の福祉事業所「みんと」と作業日程や内容、報酬単価等の調整についてマッチングを支援した。</p> <p>○参加者に対して、ゆずによる作業上の注意事項を伝え、手袋着用の徹底など安全な作業を指導した。</p> <p>○参加者は慣れない手つきながらも、農家が行うせん定枝の整理をサポートした。</p>			
結果と今後	<p>○農家からは、「作業する時間がなく助かった。堆肥散布などの作業も依頼したい」と感謝の声が寄せられた。</p> <p>○事業所からは、「作業はスムーズに行えた。要望があれば今後も受けたい」との意向が示され、今後に繋がる取組みとなった。</p> <p>○今後は、今回の成果や事例の紹介を通じ、農福連携推進に向けたマッチングを支援する。</p>			
<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>集めたせん定枝を運び出す作業</p> </div> </div>				

標 題	省力化に向けた水稲湛水直播栽培を推進		機関名	八幡浜支局地域農業育成室 西予農業指導班
年月日	令和8年5月7日	場所	西予市宇和町田之筋	
指導対象	(有)豆道楽	連携機関	JA ひがしうわ、西予市農業支援センター、(株)中四国クボタ、シンジェンタジャパン (株)	
普及指導内容	<p>○高齢化等に伴う担い手への農地集積が進む状況において、大幅な作業時間短縮を目的に大規模水稲生産者を対象として直播栽培の推進を図っている。</p> <p>○同法人は「令和7年度儲かるモデル産地育成システム確立推進事業」を活用して、直播栽培に必要な播種機やレーザーレベラーを導入し、地域のモデルとして令和8年度に5haの水田で湛水直播栽培に取り組んでいる。</p> <p>○播種後入水して湛水状態を維持し、5月7日に出芽を確認しており、生育は順調である。</p>			
結果と今後	<p>○直播栽培導入により自家育苗や苗運搬の労力が低減され、今年度の栽培面積は14ha（前年対比140%）となった。</p> <p>○今後は、定期的な生育調査とともに、雑草管理や肥培管理等の指導を徹底し、水稲湛水直播栽培の普及拡大を図る。</p>			
<div style="display: flex; align-items: center;">   <div style="margin-left: 20px;"> <p>左：湛水直播作業の様子</p> <p>右：生育状況（5/21時点）</p> </div> </div>				

■■■ 情報の問合せ先一覧表 ■■■

機関名	所在地および連絡先
東予地方局農林水産振興部 農業振興課	西条市丹原町池田 1611 TEL:0898-68-7322 FAX:0898-68-3056
東予地方局農林水産振興部 農業振興課地域農業育成室 四国中央農業指導班	四国中央市中之庄町 1684-4 TEL:0896-23-2394 FAX:0896-24-3697
東予地方局農林水産振興部 今治支局 地域農業育成室・産地戦略推進室	今治市旭町 1-4-9 TEL:0898-23-2570 FAX:0898-22-9724
東予地方局農林水産振興部 今治支局地域農業育成室 しまなみ農業指導班	今治市伯方町木浦甲 4637-3 TEL:0897-72-2325 FAX:0897-72-1912
中予地方局農林水産振興部 農業振興課	松山市北持田町 132 TEL:089-909-8762 FAX:089-909-8395
中予地方局農林水産振興部 農業振興課地域農業育成室 久万高原農業指導班	上浮穴郡久万高原町久万 571-1 TEL:0892-21-0314 FAX:0892-21-2592
中予地方局農林水産振興部 農業振興課地域農業育成室 伊予農業指導班	伊予市市場 127-1 TEL:089-982-0477 FAX:089-983-2313
南予地方局農林水産振興部 農業振興課	宇和島市天神町 7-1 TEL:0895-22-5211 FAX:0895-22-1881
南予地方局農林水産振興部 農業振興課地域農業育成室 鬼北農業指導班	北宇和郡鬼北町興野々 1880 TEL:0895-45-0037 FAX:0895-45-3152
南予地方局農林水産振興部 農業振興課地域農業育成室 愛南農業指導班	南宇和郡愛南町城辺甲 2420 TEL:0895-72-0149 FAX:0895-73-0319
南予地方局農林水産振興部 八幡浜支局 地域農業育成室・産地戦略推進室	八幡浜市北浜 1-3-37 TEL:0894-23-0163 FAX:0894-23-1853
南予地方局農林水産振興部 八幡浜支局地域農業育成室 大洲農業指導班	大洲市田口甲 425-1 TEL:0893-24-4125 FAX:0893-24-5284
南予地方局農林水産振興部 八幡浜支局地域農業育成室 西予農業指導班	西予市宇和町卯之町 3-434 TEL:0894-62-0407 FAX:0894-62-5543